

## 幡多地域アクションプランの修正について

幡 多 地 域 本 部

令和3年9月16日（木）

# 修正項目（案）

修正前

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

<b>AP 名 (実施地域)</b>	<b>No.18 新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化</b> (土佐清水市)
<b>実施主体</b>	(有)ヤマア
<b>AP への 位置づけ</b>	R3.4月
<b>事業概要</b>	宗田節等生産の焙乾工程に、新たに焼津式乾燥機等を導入し、生産性の向上や生産拡大、削り節小売商品の磨き上げにつなげることにより、安定的な雇用拡大や地域の基幹産業の振興、知名度向上を目指す。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
売上高	1.9 億円 (R元)	同左		2.3 億円

会計年度：7～6月

## これまでの主な動き

<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆顧客のニーズに合わせた節製造の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗田節（丸節）の生産拡大（R元～）</li> <li>・宗田節以外の節（サバ、ムロ、うるめ節等）の生産拡大（R元～）</li> <li>・県版 HACCP 第2ステージ認証取得（R元）</li> <li>・産業振興アドバイザー（発掘支援型）の活用（R2）</li> </ul> <p>◆販売拡大・新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ECサイトを活用した販売開始（R元～）</li> <li>・新商品「宗田ジャージャー」の開発・販売開始（R元）</li> <li>・高知県産品商談会（県地産外商公社）への出展（R2）</li> <li>・オンライン商談会への参加（R2）</li> <li>・動画を活用した商品PR（R2～）</li> <li>・ラーメン店への業務用商品の販売（R2～）</li> <li>・SNSを活用した商品PR（R2～）</li> </ul> <p>◆雇用体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧来の節納屋の雇用形態の見直し（R2）</li> <li>・宗田節以外の節の生産強化による年間操業及び雇用の安定</li> </ul>	<p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品「宗田ジャージャー」の開発（R元）</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客のニーズに合わせた丸節の生産拡大</li> <li>・小売商品の販売増</li> <li>・インターネットを活用した販売の強化</li> <li>・雇用の拡大、外国人労働者の受入れ</li> <li>・新規取引先の開拓</li> <li>・衛生管理体制の強化（小売商品を含む） →県版 HACCP 第3ステージ認証取得</li> </ul>
---	--

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化	<b>施設整備及び HACCP 認証取得</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 施設整備（焼津式乾燥機、煮熟設備）及び稼働開始、県版 HACCP 第3ステージ認証取得</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用、各種研修の参加呼びかけ</li> </ul>		<b>生産体制の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 増産に伴う生産管理の見直し、サバ、ムロ、うるめ等の節の生産強化、従業員のスキルアップ</li> <li>●県（地域本部等）： 生産管理に関する産業振興アドバイザーの活用提案、各種セミナーの情報提供</li> </ul>		
	◆販売拡大・新商品の開発	<b>既存商品の磨き上げ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： マーケティング分析や既存商品のパッケージの見直し等の改良、ブランディング</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案、商談会等の情報提供</li> </ul>		<b>新商品の開発</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 市場調査によるニーズの把握及び新商品の開発</li> <li>●県（地域本部等）： 商品開発に関する産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援メニューの提案</li> </ul>	
<b>販路開拓</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 商談会等への出展による販売先の開拓、既存取引先への販売拡大、他事業者と連携した販路開拓</li> <li>●県（地域本部等）： 商談会の情報提供、土佐MBA等の講座の提案</li> </ul>		<b>インターネットを活用した販売の促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： HPやSNSを活用し、宗田節商品等のPR、販売促進</li> <li>●県（地域本部等）： 各種研修、セミナー等の参加呼びかけ</li> </ul>			
<b>生産増に伴う雇用の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 生産増に伴う雇用の創出、外国人研修生の受入れ</li> <li>●県（地域本部等）： 各種支援策の提案、研修等の参加呼びかけ</li> </ul>					
<b>雇用体制の強化</b>					

<b>AP 名 (実施地域)</b>	<b>No.18 新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化</b> (土佐清水市)
<b>実施主体</b>	(有)ヤマア
<b>AP への 位置づけ</b>	R3.4月
<b>事業概要</b>	宗田節等生産の焙乾工程に、新たに焼津式乾燥機等を導入し、生産性の向上や生産拡大、削り節小売商品の磨き上げにつなげることにより、安定的な雇用拡大や地域の基幹産業の振興、知名度向上を目指す。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
売上高	1.9 億円 (R元)	同左		2.5 億円

会計年度：7～6月

これまでの主な動き

<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆顧客のニーズに合わせた節製造の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗田節（丸節）の生産拡大（R元～）</li> <li>・宗田節以外の節（サバ、ムロ、うるめ節等）の生産拡大（R元～）</li> <li>・県版 HACCP 第2ステージ認証取得（R元）</li> <li>・産業振興アドバイザー（発掘支援型）の活用（R2）</li> </ul> <p>◆販売拡大・新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ECサイトを活用した販売開始（R元～）</li> <li>・新商品「宗田ジャージャー」の開発・販売開始（R元）</li> <li>・高知県産品商談会（県地産外商公社）への出展（R2）</li> <li>・オンライン商談会への参加（R2）</li> <li>・動画を活用した商品PR（R2～）</li> <li>・ラーメン店への業務用商品の販売（R2～）</li> <li>・SNSを活用した商品PR（R2～）</li> </ul> <p>◆雇用体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧来の節納屋の雇用形態の見直し（R2）</li> <li>・宗田節以外の節の生産強化による年間操業及び雇用の安定</li> </ul>	<p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品「宗田ジャージャー」の開発（R元）</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客のニーズに合わせた丸節の生産拡大</li> <li>・小売商品の販売増</li> <li>・インターネットを活用した販売の強化</li> <li>・雇用の拡大、外国人労働者の受入れ</li> <li>・新規取引先の開拓</li> <li>・衛生管理体制の強化（小売商品を含む） →県版 HACCP 第3ステージ認証取得</li> </ul>
---	--

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化	施設整備及び HACCP 認証取得		生産体制の強化		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 施設整備（焼津式乾燥機、煮熟設備）及び稼働開始、県版 HACCP 第3ステージ認証取得</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用、各種研修の参加呼びかけ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 増産に伴う生産管理の見直し、サバ、ムロ、うるめ等の節の生産強化、従業員のスキルアップ</li> <li>●県（地域本部等）： 生産管理に関する産業振興アドバイザーの活用提案、各種セミナーの情報提供</li> </ul>		
◆販売拡大・新商品の開発	既存商品の磨き上げ		新商品の開発		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： マーケティング分析や既存商品のパッケージの見直し等の改良、ブランディング</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案、商談会等の情報提供</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 市場調査によるニーズの把握及び新商品の開発</li> <li>●県（地域本部等）： 商品開発に関する産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援メニューの提案</li> </ul>		
	販路開拓		インターネットを活用した販売の促進		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 商談会等への出展による販売先の開拓、既存取引先への販売拡大、他事業者と連携した販路開拓</li> <li>●県（地域本部等）： 商談会の情報提供、土佐MBA等の講座の提案</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： HPやSNSを活用し、宗田節商品等のPR、販売促進</li> <li>●県（地域本部等）： 各種研修、セミナー等の参加呼びかけ</li> </ul>		
◆雇用体制の強化	生産増に伴う雇用の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 生産増に伴う雇用の創出、外国人研修生の受入れ</li> <li>●県（地域本部等）： 各種支援策の提案、研修等の参加呼びかけ</li> </ul>				

# 修正項目（案）

修正前

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

<b>AP名 (実施地域)</b>	<b>No.23 幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大</b> (四万十市)
<b>実施主体</b>	WAN LIFE
<b>APへの 位置づけ</b>	H28.4月
<b>事業概要</b>	四万十市の農産物を中心に、県産素材にこだわったペット関連商品を開発し、地産外商を進めることで、地域経済の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
売上高	2,064万円 (H30)	3,040万円		6,000万円

会計年度：1～12月

## これまでの主な動き

### <これまでの取り組みの内容>

#### ◆商品開発

- ・産業振興アドバイザーを活用して、ギフトセットを開発 (H28:3回)
- ・産業振興アドバイザーを活用して、猫用商品を開発中 (R元：3回)

#### ◆販促活動

- ・産業振興アドバイザーを活用して、写真の撮り方の研究、HPリニューアル及びSNS活用強化 (H29:3回)
- ・ふるさと納税返礼品への登録 (H29～)
- ・ペット向け定期便サイト国内大手全4社に登録 (H30～)
- ・ペットフェスティバルやギフトショーへの出展 (H28～)
- ・阪急梅田百貨店うめだ本店での展示販売(H28～R元)
- ・高知市でのわんこハムづくり教室の開催 (H30)

#### ◆生産体制の充実・強化

- ・製造スペース改修及び製造機器導入 (H29)
- ・産業振興アドバイザーを活用して、生産工程及び受発注工程を効率化 (H30:3回)

### <主な成果>

- ・ペットおやつ食品 14 商品を開発 (H28～)  
※しいたけ、鯛皮、すなごも、レバー、豚、芋、鰯、宗田節、きびなご、しいら、ささみを原材料とする
- ・犬用スープ商品(2種類)の開発 (H29)

### <課題>

- ・さらなる商品開発 (猫用商品の原材料確保)
- ・自社販売システムの充実 (HP改修を検討)
- ・加工及び集出荷の強化
- ・新施設(ペットホテル)整備の検討

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆商品開発	<b>ネコ関連商品及びレトルト商品の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 市場調査、試作品作り、原料調達方法の検討、商品化</li> <li>●県（地域本部等） : 産振アドバイザーの活用提案</li> </ul>		<b>さらなる地域素材の発掘</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 市場調査、試作品作り、調達方法の検討</li> <li>●県（地域本部等） : 集活センターや地域の生産者が取り組む一次産品情報の提供</li> </ul>		
	◆販促活動				
<b>ITを活用した個人顧客の獲得</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 各媒体（HP、SNS、ブログ）での情報発信のスキルアップ、顧客情報を活用した地域情報発信によるコアファンづくり、自社HPの多言語対応</li> <li>●県（地域本部等） : 土佐MBA等の講座等の紹介</li> </ul>					
<b>新商品のPR強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 商談会、イベント等への出展</li> <li>●県（地域本部等） : 商談会等の情報提供、新商品に関する県からの情報発信</li> </ul>			<b>自社定期便システム構築の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 市場調査、コンセプトづくり、システム構築</li> <li>●県（地域本部等） : 産振アドバイザーの活用提案</li> </ul>		
◆生産体制の充実・強化	<b>生産工程のさらなる効率化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 生産工程の継続的な見直し、県版HACCP第3ステージ認証取得</li> <li>●県（地域本部等） : 県版HACCP認証取得の支援、必要に応じた産振アドバイザーの活用提案</li> </ul>		<b>新規事業展開（施設整備含む）の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 市場調査、事業構想の磨き上げ、事業計画策定</li> <li>●県（地域本部等） : 土佐MBA等の講座等の紹介、施設整備の支援事業の紹介</li> </ul>		
	<b>施設整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 資金調達、施設整備</li> <li>●県（地域本部等） : 産業振興総合補助金の活用可能性検討、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				

修正後

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.23 幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大 (四万十市)
実施主体	WAN LIFE
APへの 位置づけ	H28.4月
事業概要	四万十市の農産物を中心に、県産素材にこだわったペット関連商品を開発し、地産外商を進めることで、地域経済の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
売上高	2,064万円 (H30)	3,040万円		6,000万円

会計年度：1～12月

これまでの主な動き

<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興アドバイザーを活用して、ギフトセットを開発 (H28:3回)</li> <li>産業振興アドバイザーを活用して、猫用商品を開発中 (R元：3回)</li> </ul> <p>◆販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興アドバイザーを活用して、写真の撮り方の研究、HPリニューアル及びSNS活用強化 (H29:3回)</li> <li>ふるさと納税返礼品への登録 (H29～)</li> <li>ペット向け定期便サイト国内大手全4社に登録 (H30～)</li> <li>ペットフェスティバルやギフトショーへの出展 (H28～)</li> <li>阪急梅田百貨店うめだ本店での展示販売(H28～R元)</li> <li>高知市でのわんこハムづくり教室の開催 (H30)</li> </ul> <p>◆生産体制の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製造スペース改修及び製造機器導入 (H29)</li> <li>産業振興アドバイザーを活用して、生産工程及び受発注工程を効率化 (H30:3回)</li> </ul>	<p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペットおやつ食品 14 商品を開発 (H28～) ※しいたけ、鯛皮、すなごも、レバー、豚、芋、鰯、宗田節、きびなご、しいら、ささみを原材料とする</li> <li>犬用スープ商品(2種類)の開発 (H29)</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さらなる商品開発 (猫用商品の原材料確保)</li> <li>自社販売システムの充実 (HP改修を検討)</li> <li>加工及び集出荷の強化</li> <li>新施設(ペットホテル)整備の検討</li> </ul>
--	--



第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆商品開発	<b>ネコ関連商品及びレトルト商品の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 市場調査、試作品作り、原料調達方法の検討、商品化</li> <li>●県（地域本部等） : 産振アドバイザーの活用提案</li> </ul>		<b>さらなる地域素材の発掘</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 市場調査、試作品作り、調達方法の検討</li> <li>●県（地域本部等） : 集活センターや地域の生産者が取り組む一次産品情報の提供</li> </ul>		
	◆販促活動				
<b>ITを活用した個人顧客の獲得</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 各媒体（HP、SNS、ブログ）での情報発信のスキルアップ、顧客情報を活用した地域情報発信によるコアファンづくり、自社HPの多言語対応</li> <li>●県（地域本部等） : 土佐MBA等の講座等の紹介</li> </ul>					
<b>新商品のPR強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 商談会、イベント等への出展</li> <li>●県（地域本部等） : 商談会等の情報提供、新商品に関する県からの情報発信</li> </ul>			<b>自社定期便システム構築の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 市場調査、コンセプトづくり、システム構築</li> <li>●県（地域本部等） : 産振アドバイザーの活用提案</li> </ul>		
<b>施設整備（物販・ドックラン等）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 資金調達、施設整備</li> <li>●県（地域本部等） : 産業振興総合補助金の活用可能性検討、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>					
◆生産体制の充実・強化	<b>生産工程のさらなる効率化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 生産工程の継続的な見直し、県版HACCP第3ステージ認証取得</li> <li>●県（地域本部等） : 県版HACCP認証取得の支援、必要に応じた産振アドバイザーの活用提案</li> </ul>		<b>新規事業展開（施設整備含む）の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●WAN LIFE : 市場調査、事業構想の磨き上げ、事業計画策定</li> <li>●県（地域本部等） : 土佐MBA等の講座等の紹介、施設整備</li> </ul>		

# 修正項目（案）

修正前

幡多地域アクションプラン		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.26 地域商業活性化拠点「はれのぼ」を核とした中心市街地の活性化 (四万十市)		
実施主体	◎四万十市中心商店街活性化協議会、◎四万十にぎわい商店(株)、四万十市		
APへの位置づけ	H29.4月		
事業概要	中心商店街内に整備した地域商業活性化拠点「Simanto+Terrace はれのぼ」を核に、県内外の観光客といった新たな顧客を官民協働で呼び込むことにより、商店街等に継続的な賑わいをもたらす、中心市街地の活性化を図る。		

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1) 中心商店街エリア内の売上額 ※	8億3,100万円 (R元)	同左		9億1,411万円
(2) 中心商店街エリア内の通行量 ※	平日 5,226人 休日 4,036人 (H26~30平均)	同左		平日 6,005人 休日 4,647人
(3) 新規出店者数	0店舗 (R元)	同左		8店舗 (R元~5累計)
(4) 売上額 (四万十にぎわい商店(株))	0円 (R元)	同左		1,861万円

※ 集計年度：1~12月

これまでの主な動き	
<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆<b>拠点施設の魅力向上と情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点施設の運営主体が「四万十にぎわい商店(株)」に決定 (H29.6月)</li> <li>・拠点施設の基本設計、実施設計 (H30~R元)</li> <li>・拠点施設の名称が「Simanto+Terrace はれのぼ」に決定 (R元.12月)</li> <li>・拠点施設の整備(R元.10月着工~R2.3月完成) →R元 地域経済活性化拠点補助金の活用 (事業費 1億3,800万円)</li> <li>・施設オープン (R2.4月)</li> <li>・はれのぼ PR 動画作成 (R2)</li> <li>・グッドデザイン賞受賞 (R2)</li> <li>・「日本空間デザイン賞 2020 (日本空間デザイン協会/日本商環境デザイン協会)」銅賞受賞 (R2)</li> <li>・主催、持込みイベントの開催 (R2~)</li> </ul> <p>◆<b>中心市街地エリアへの経済波及促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十市中心商店街活性化協議会の設立 (H30.10月)</li> </ul>	<p>(構成員…四万十市商店街振興組合連合会及び同女性部、市内6商店街組合、四万十にぎわい商店(株)、まちづくり四万十(株)、中村商工会議所、県中小企業団体中央会、四万十市、県)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小機構「中心市街地商業活性化診断・サポート事業」の活用 (H29~R元)</li> <li>・産業振興アドバイザーを導入して、四万十市中心商店街活性化計画づくりを推進 (H30:5回)</li> </ul> <p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十市中心商店街活性化計画の策定 (R元)</li> <li>・直営店「cafe n2」売上額：949万円 (R2.12月末時点)</li> <li>・直営店「cafe n2」入込客数：7,923人 (R2.12月末時点)</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点施設の魅力向上及び経営確立</li> <li>・拠点施設によるシャワー効果の最大化</li> <li>・四万十市中心商店街活性化計画の実行</li> </ul>

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆拠点施設の 魅力向上と情報 発信	<b>拠点施設のカフェ及び店舗の魅力向上</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十にぎわい商店(株) : カフェメニュー充実のための地域の食材調査、試作品づくり、市場調査（消費者の意見集約）、メニュー改良、新たなメニュー化の実現、テナント入居店舗のメニュー・サービスの改善提案、新たな加工商品の開発及び拠点施設での販売の検討</li> <li>●県（地域本部等） : 試作品づくりへのアドバイスを獲得するための産振アドバイザーの活用提案、産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
	<b>拠点施設に人を呼び込む仕組みづくり</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十にぎわい商店(株)、四万十市中心商店街活性化協議会 : 集客イベントの実施、拠点を活用した持ち込みイベントの支援、マルシェの開催（日曜市の復活）支援</li> <li>●県（地域本部等） : 拠点でのイベント実施希望者に関する情報提供、イベント運営支援、情報発信</li> </ul>				
◆中心市街地工 リアへの経済波 及促進	<b>エリア情報の集約および情報発信基盤の整備</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十市中心商店街活性化協議会、四万十にぎわい商店(株)、四万十市 : 商店街店舗同士の情報共有、店舗の相互紹介サービスの実施とマップの作成、掲示板やチラシ等の既存の実媒体の強化、広報誌の新規発行、まちのポータルサイトの新規開設</li> <li>●県（地域本部等） : 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援、産振アドバイザーの活用提案、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
	<b>中心商店街に人を呼び込む仕組みづくり</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十市中心商店街活性化協議会、四万十にぎわい商店(株)、四万十市 : 店舗バックヤード等の紹介ツアー実施、拠点を活用した持ち込みイベントの情報集約及び開催への橋渡し、マルシェの開催（日曜市の復活）、毎月の「玉姫の日」イベント拡大実施、店舗を巡って遊ぶ「まちあそび人生ゲーム」イベントの継続実施</li> <li>●県（地域本部等） : 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援、産振アドバイザーの活用提案、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
<b>店舗新規参入の促進</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十市中心商店街活性化協議会、四万十市 : チャレンジショップ事業の推進、エリア内の空き店舗情報の共有</li> <li>●県（地域本部等） : 空き店舗対策事業費補助金による支援、その他事業各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>					

<b>AP名 (実施地域)</b>	<b>No.26 地域商業活性化拠点「はれのぼ」を核とした中心市街地の活性化</b> (四万十市)
<b>実施主体</b>	◎四万十市中心商店街活性化協議会、◎四万十にぎわい商店(株)、四万十市
<b>APへの位置づけ</b>	H29.4月
<b>事業概要</b>	中心商店街内に整備した地域商業活性化拠点「Simanto+Terrace はれのぼ」を核に、県内外の観光客といった新たな顧客を官民協働で呼び込むことにより、商店街等に継続的な賑わいをもたらす、中心市街地の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1) 中心商店街エリア内の売上額 ※	8億3,100万円 (H30)	6億9,300万円		9億1,411万円
(2) 中心商店街エリア内の通行量 ※	平日 5,226人 休日 4,036人 (H26~30 平均)	平日 5,607人 休日 3,783人		平日 6,005人 休日 4,647人
(3) 中心商店街エリア内の新規出店者数	2店舗 (H30)	6店舗		8店舗 (R元~5 累計)
(4) 売上額 (四万十にぎわい商店(株))	二 (H30)	二		1,861万円

※ 集計年度 (1) (2) : 1~12月

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆拠点施設の魅力向上と情報発信

- ・拠点施設の運営主体が「四万十にぎわい商店(株)」に決定 (H29.6月)
- ・拠点施設の基本設計、実施設計 (H30~R元)
- ・拠点施設の名称が「Simanto+Terrace はれのぼ」に決定 (R元.12月)
- ・拠点施設の整備(R元.10月着工~R2.3月完成)  
→R元 地域経済活性化拠点補助金の活用  
(事業費 1億3,800万円)
- ・施設オープン (R2.4月)
- ・はれのぼ PR 動画作成 (R2)
- ・グッドデザイン賞受賞 (R2)
- ・「日本空間デザイン賞 2020 (日本空間デザイン協会/日本商環境デザイン協会)」銅賞受賞 (R2)
- ・主催、持込みイベントの開催 (R2~)

◆中心市街地エリアへの経済波及促進

- ・四万十市中心商店街活性化協議会の設立  
(H30.10月)

(構成員…四万十市商店街振興組合連合会及び同女性部、市内6商店街組合、四万十にぎわい商店(株)、まちづくり四万十(株)、中村商工会議所、県中小企業団体中央会、四万十市、県)

- ・中小機構「中心市街地商業活性化診断・サポート事業」の活用 (H29~R元)
- ・産業振興アドバイザーを導入して、四万十市中心商店街活性化計画づくりを推進 (H30:5回)

<主な成果>

- ・四万十市中心商店街活性化計画の策定 (R元)
- ・直営店「cafe n2」売上額 : 949万円  
(R2.12月末時点)
- ・直営店「cafe n2」入込客数 : 7,923人  
(R2.12月末時点)

<課題>

- ・拠点施設の魅力向上及び経営確立
- ・拠点施設によるシャワー効果の最大化
- ・四万十市中心商店街活性化計画の実行

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆拠点施設の 魅力向上と情報 発信	<b>拠点施設のカフェ及び店舗の魅力向上</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十にぎわい商店(株) : カフェメニュー充実のための地域の食材調査、試作品づくり、市場調査（消費者の意見集約）、メニュー改良、新たなメニュー化の実現、テナント入居店舗のメニュー・サービスの改善提案、新たな加工商品の開発及び拠点施設での販売の検討</li> <li>●県（地域本部等） : 試作品づくりへのアドバイスを獲得するための産振アドバイザーの活用提案、産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
◆中心市街地工 リアへの経済波 及促進	<b>拠点施設に人を呼び込む仕組みづくり</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十にぎわい商店(株)、四万十市中心商店街活性化協議会 : 集客イベントの実施、拠点を活用した持ち込みイベントの支援、マルシェの開催（日曜市の復活）支援</li> <li>●県（地域本部等） : 拠点でのイベント実施希望者に関する情報提供、イベント運営支援、情報発信</li> </ul>				
◆中心市街地工 リアへの経済波 及促進	<b>エリア情報の集約および情報発信基盤の整備</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十市中心商店街活性化協議会、四万十にぎわい商店(株)、四万十市 : 商店街店舗同士の情報共有、店舗の相互紹介サービスの実施とマップの作成、掲示板やチラシ等の既存の実媒体の強化、広報誌の新規発行、まちのポータルサイトの新規開設</li> <li>●県（地域本部等） : 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援、産振アドバイザーの活用提案、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
	<b>中心商店街に人を呼び込む仕組みづくり</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十市中心商店街活性化協議会、四万十にぎわい商店(株)、四万十市 : 店舗バックヤード等の紹介ツアー実施、拠点を活用した持ち込みイベントの情報集約及び開催への橋渡し、マルシェの開催（日曜市の復活）、毎月の「玉姫の日」イベント拡大実施、店舗を巡って遊ぶ「まちあそび人生ゲーム」イベントの継続実施</li> <li>●県（地域本部等） : 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援、産振アドバイザーの活用提案、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
◆中心市街地工 リアへの経済波 及促進	<b>店舗新規参入の促進</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十市中心商店街活性化協議会、四万十市 : チャレンジショップ事業の推進、エリア内の空き店舗情報の共有</li> <li>●県（地域本部等） : 空き店舗対策事業費補助金による支援、その他事業各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				

# 修正項目 (案)

修正前

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

<b>AP 名 (実施地域)</b>	<b>No.29 三原産トマトを中心とした加工・販売の推進</b> (三原村)
<b>実施主体</b>	(株)ベストグローウ
<b>AP への 位置づけ</b>	H28.4月
<b>事業概要</b>	地域産トマトを活用した加工品の生産体制を強化するとともに、地産外商による販路拡大を進めることで、新たな雇用の創出による地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
売上高	9,395万円 (H30)	9,425万円		1億円

会計年度：4～3月 (H30)、12～11月 (R元～)

## これまでの主な動き

### <これまでの取り組みの内容>

#### ◆販売促進

- ・小規模事業者持続化補助金を活用して、商品パッケージ及びカタログを作成 (H28.7月)
- ・産業振興アドバイザーを導入して、試作商品の商品化に向けたノウハウを習得 (H29.2月)
- ・産業振興アドバイザーを導入して、新商品のテストマーケティングを実施 (H29.5月)
- ・道の駅あぐり窪川での、試作商品のテストマーケティングの実施 (H30.10月)
- ・県内のイベントに参加 (H28～)
- ・県内外の商談会に出展 (H28～)
- ・JAL 国内線ファーストクラスの飲料に採用 (R2.6月)

#### ◆生産・加工体制の強化

- ・ものづくり・商業・サービス革新補助金を活用して、ジュース製造機器を導入 (H28.10月)
- ・食品衛生法の改正の対応に向け、原料原産地表示制度セミナー等を受講 (H31.2月)
- ・自社の経営分析及び事業戦略の見直しに向け、ナリワイセミナー幡多稼ごう塾を受講 (R元.5月)
- ・HACCP アドバイザーを導入して、衛生管理や危害分析のノウハウを習得 (H30～R元)

- ・HACCP の認証取得に必要となる書類作成講習会への参加 (R2.9月)

### <主な成果>

- ・雇用の創出  
H27：2人 → R元：4人 (正社員)
- ・新商品開発  
R元：1品
- ・取引件数  
H28：120件 → H30：150件
- ・衛生管理体制の強化  
県版 HACCP 第2ステージ認証取得 (R元.8月)

### <課題>

- ・販売リスク分散に向け、カゴメ(株)以外の取引先の確保
- ・さらなる販路拡大に向け、海外展開を視野に入れた販売促進活動の強化
- ・労働時間の効率化に向けた加工機器整備

## 第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆販売促進	<b>県外・海外展開に向けた基盤づくり</b>			<b>海外進出・貿易開始</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロー：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>GAP 取得に向けた情報収集、貿易セミナー等でのノウハウの習得、海外事情等の情報収集、海外向けの商談会への出展</li> </ul> </li> <li>●県（地域本部等）：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>貿易に関する情報提供、セミナー及び商談会等の紹介、関係者への橋渡し</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロー：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>海外販路の開拓（海外の高級量販店への商流構築等）</li> </ul> </li> </ul>	
	<b>顧客ニーズを意識した規格・デザイン等の見直し</b>			<b>製品のプロモーション活動</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロー：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー等で得た情報に基づいた商品規格等の見直し</li> </ul> </li> <li>●県（地域本部等）：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客ニーズを反映した商品づくりに関するアドバイスを得るための産業振興アドバイザーの活用提案、その他各種支援制度の紹介</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロー：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>商談会等への出展、プロモーション活動の実施</li> </ul> </li> <li>●県（地域本部等）：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>高知県地産外商公社への橋渡し支援</li> </ul> </li> </ul>	
◆生産・加工体制の強化	<b>ジュース製造ラインの見直し</b>			<b>設備の入替・稼働</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロー：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ジュース製造工程で発生している課題の整理、県版 HACCP 第3ステージの認証取得</li> </ul> </li> <li>●県（地域本部等）：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供、関係機関への橋渡し、その他各種支援制度の紹介</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロー：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>入替加工機器及び活用する支援制度の確定、機器稼働開始</li> </ul> </li> <li>●県（地域本部等）：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>機器の導入に関して産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討、その他各種支援制度に関する情報提供</li> </ul> </li> </ul>	
<p>【用語】 ・GAP：「Good Agricultural Practice」の略。農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのこと。</p> <p>・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハサップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のこと。</p>					

修正後

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.29 三原産トマトを中心とした加工・販売の推進 (三原村)
実施主体	(株)ベストグロー
APへの位置づけ	H28.4月
事業概要	地域産トマトを活用した加工品の生産体制を強化するとともに、地産外商による販路拡大を進めることで、新たな雇用の創出による地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
売上高	9,395万円 (H30)	9,425万円		1億円

会計年度：4～3月（H30）、12～11月（R元～）

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆販売促進

- ・小規模事業者持続化補助金を活用して、商品パッケージ及びカタログを作成（H28.7月）
- ・産業振興アドバイザーを導入して、試作商品の商品化に向けたノウハウを習得（H29.2月）
- ・産業振興アドバイザーを導入して、新商品のテストマーケティングを実施（H29.5月）
- ・道の駅めぐり窪川での、試作商品のテストマーケティングの実施（H30.10月）
- ・県内のイベントに参加（H28～）
- ・県内外の商談会に出展（H28～）
- ・JAL国内線ファーストクラスの飲料に採用（R2.6月）

◆生産・加工体制の強化

- ・ものづくり・商業・サービス革新補助金を活用して、ジュース製造機器を導入（H28.10月）
- ・食品衛生法の改正の対応に向け、原料原産地表示制度セミナー等を受講（H31.2月）
- ・自社の経営分析及び事業戦略の見直しに向け、ナリワイセミナー幡多稼ごう塾を受講（R元.5月）
- ・HACCPアドバイザーを導入して、衛生管理や危害分析のノウハウを習得（H30～R元）

- ・HACCPの認証取得に必要となる書類作成講習会への参加（R2.9月）

<主な成果>

- ・雇用の創出  
H27：2人 → R元：4人（正社員）
- ・新商品開発  
R元：1品
- ・取引件数  
H28：120件 → H30：150件
- ・衛生管理体制の強化  
県版 HACCP 第2ステージ認証取得（R元.8月）

<課題>

- ・販売リスク分散に向け、カゴメ(株)以外の取引先の確保
- ・さらなる販路拡大に向け、海外展開を視野に入れた販売促進活動の強化
- ・労働時間の効率化に向けた加工機器整備



第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降	
◆販売促進	<p>県外・海外展開に向けた基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロウ：                     <p>GAP取得に向けた情報収集、貿易セミナー等でのノウハウの習得、海外事情等の情報収集、海外向けの商談会への出展</p> </li> <li>●県（地域本部等）：                     <p>貿易に関する情報提供、セミナー及び商談会等の紹介、関係者への橋渡し</p> </li> </ul>			<p>海外進出・貿易開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロウ：                     <p>海外販路の開拓（海外の高級量販店への商流構築等）</p> </li> </ul>		
	<p>顧客ニーズを意識した規格・デザイン等の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロウ：                     <p>セミナー等で得た情報に基づいた商品規格等の見直し</p> </li> <li>●県（地域本部等）：                     <p>顧客ニーズを反映した商品づくりに関するアドバイスを得るための産業振興アドバイザーの活用提案、その他各種支援制度の紹介</p> </li> </ul>			<p>製品のプロモーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロウ：                     <p>商談会等への出展、プロモーション活動の実施</p> </li> <li>●県（地域本部等）：                     <p>高知県地産外商公社への橋渡し支援</p> </li> </ul>		
	◆生産・加工体制の強化	<p>ジュース製造ラインの見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロウ：                     <p>ジュース製造工程で発生している課題の整理、<u>新県版 HACCP 第2ステージの認証取得</u></p> </li> <li>●県（地域本部等）：                     <p>情報提供、関係機関への橋渡し、その他各種支援制度の紹介</p> </li> </ul>			<p>海外進出を見据えた人身体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ベストグロウ：                     <p><u>HACCPに対応した加工製造工程における安定した稼働の維持及び人身体制の強化</u></p> </li> <li>●県（地域本部等）：                     <p><u>情報提供、関係機関への橋渡し、その他各種支援制度に関する情報提供</u></p> </li> </ul>	
		<p>【用語】 ・GAP：「Good Agricultural Practice」の略。農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのこと。</p> <p>・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハサップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のこと。</p>				

# 修正項目（案）

修正前

幡多地域アクションプラン

分野

観光

<b>AP名 (実施地域)</b>	<b>No.39 土佐清水まると戦略観光の展開</b> (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
<b>実施主体</b>	◎土佐清水市、(一社)土佐清水市観光協会、土佐清水ジオパーク推進協議会
<b>APへの 位置づけ</b>	H22.4月
<b>事業概要</b>	観光産業を地域の戦略的産業と位置づけ、体験型観光や国際観光等の誘客促進の強化と受入態勢の整備・充実に取り組むとともに、「日本ジオパーク」の加盟認定により、ジオツーリズムをさらに推進し、滞在日数の増加や消費の拡大を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
入込客数	65.7万人 (H30)	66.5万人		75万人

集計期間：1～12月

## これまでの主な動き

<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆<b>誘客の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興アドバイザーを導入し、観光事業者による新商品の開発（H28：5回）及びイベントへの集客力向上（H28：5回）を実現</li> <li>観光スタンプラリーの実施（H28～） H30から自然体験型プログラムを追加</li> <li>漁船タクシーの運航開始（H28～）</li> <li>レンタルサービス開始（H28～） H28～自転車、キャンプ用品、H30～シーカヤック、マリフポート追加</li> <li>ジョン万次郎資料館リニューアルオープン（H30.4月） →H29観光拠点整備補助金の活用 (事業費:1億7,597万円)</li> <li>ジョン万デニムプロジェクト特別企画展の開催（H30）</li> <li>唐人駄場でスターウォッチングイベント開催（H30）</li> <li>PR動画作成（R元）</li> </ul> <p>◆<b>推進体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土佐の観光創生塾等の人材育成のための勉強会や研修会の受講</li> <li>土佐清水市観光マスタープラン策定（H28）</li> <li>足摺宇和海国立公園足摺岬エリア利用計画を進める会の実施（R2：5回）</li> </ul>	<p>◆<b>日本ジオパークネットワーク加盟によるさらなる誘客促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオパーク推進協議会の設立（H27.2月）</li> <li>日本ジオパークネットワーク加盟申請（H29.5月及びH30.5月）</li> <li>ジオガイドの養成（H28～R2）</li> <li>産業振興アドバイザーを導入し、ジオツアーの磨き上げ（H29:2回）及びジオストーリーの構築（H29:2回）を実施</li> </ul> <p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジョン万資料館入場者数 H27：9,805人 → R元：15,831人</li> <li>ジオガイド登録者数 H26：0人 → R2：28人</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源のさらなる磨き上げ</li> <li>中心市街地・竜串・足摺の全域に周遊を促す体制づくり</li> <li>日本ジオパークネットワークへの加盟実現</li> </ul>
--	---

## 第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆誘客の促進	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: left;">地域の自然、歴史、食といった資源の磨き上げと誘客促進</div> <div style="border: 1px solid #0056b3; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市： 「足摺藪椿再生プロジェクト」の継続実施、スターウォッチングの磨き上げ、「足摺きりり」（キャンドルライトアップ）の秋冬観光資源としての磨き上げ、ジョン万次郎資料館及び四国 88 か所を核とする歴史資源による誘客促進 インバウンド観光誘客のための受入環境のさらなる充実（案内板、パンフレット、通訳ガイド等）</li> <li>●(一社)土佐清水市観光協会： 周遊を促進させる体験メニューの充実、HP、SNSを活用した情報発信の強化、ジョン万次郎資料館での集客力のあるイベント開催及びイベントを呼び水としたツアー誘客</li> <li>●観光事業者： スターウォッチング、唐人駄場を活用した宿泊客の夜間観光メニューの実施、官民共同による旅行会社等への営業展開</li> <li>●県（地域本部等）： 観光拠点整備補助金の活用支援、産振アドバイザーの活用支援、情報提供、関係機関への橋渡し</li> </ul> </div>				
◆推進体制の強化	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: left;">観光マスタープランに沿った、足摺・竜串・中心市街地が連動した誘客促進及び観光人材育成</div> <div style="border: 1px solid #0056b3; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市： 中心市街地・竜串・足摺の全域に周遊を促す仕組みの検討 唐人駄場の利活用の検討</li> <li>●(一社)土佐清水市観光協会： 県等が実施する、観光人材育成研修への地域の事業者の参加</li> <li>●県（地域本部等）： 産振アドバイザーの活用、情報提供、関係機関への橋渡し</li> </ul> </div>				
◆日本ジオパークネットワーク加盟によるさらなる誘客促進	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">ジオパーク認定</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">ジオツーリズムの推進及びガイド等人材の育成</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid #0056b3; border-radius: 20px; padding: 10px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市(推進協議会)： ジオネットワーク加盟申請、現地審査対策、加盟会員相互の情報共有、マスコミを通じたPR</li> <li>●県（地域本部等）： 推進協議会への参画を通じた助言、産振アドバイザーの活用、情報提供</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid #0056b3; border-radius: 20px; padding: 10px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市（推進協議会）： ジオ加盟後のジオ会員間のネットワーク強化、知名度アップのための情報発信強化、竜串ビジターセンターを拠点とするジオツーリズムの推進、ジオガイドの育成及びスキルアップ、ジオツアーの造成、ジオサイト解説板の新規整備等による受入態勢の充実、市民へのジオパークのさらなる普及啓発</li> <li>●県（地域本部等）： 推進協議会への参画を通じた助言、観光拠点整備補助金等の活用による受入体制整備の支援、産振アドバイザーの活用、情報提供</li> </ul> </div> </div>				

<b>AP名 (実施地域)</b>	<b>No.39 土佐清水まると戦略観光の展開</b> (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
<b>実施主体</b>	◎土佐清水市、(一社)土佐清水市観光協会、土佐清水ジオパーク推進協議会
<b>APへの 位置づけ</b>	H22.4月
<b>事業概要</b>	観光産業を地域の戦略的産業と位置づけ、体験型観光や国際観光等の誘客促進の強化と受入態勢の整備・充実に取り組むとともに、「日本ジオパーク」の加盟認定により、ジオツーリズムをさらに推進し、滞在日数の増加や消費の拡大を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
入込客数	65.7万人 (H30)	66.5万人		75万人

集計期間：1～12月

これまでの主な動き	
<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆<b>誘客の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興アドバイザーを導入し、観光事業者による新商品の開発 (H28：5回) 及びイベントへの集客力向上 (H28：5回) を実現</li> <li>観光スタンプラリーの実施 (H28～)</li> <li>H30から自然体験型プログラムを追加</li> <li>漁船タクシーの運航開始 (H28～)</li> <li>レンタルサービス開始 (H28～)</li> <li>H28～自転車、キャンプ用品、H30～シーカヤック、マリフポート追加</li> <li>ジョン万次郎資料館リニューアルオープン (H30.4月) →H29 観光拠点整備補助金の活用 (事業費:1億7,597万円)</li> <li>ジョン万デニムプロジェクト特別企画展の開催 (H30)</li> <li>唐人駄場でスターウォッチングイベント開催 (H30)</li> <li>PR動画作成 (R元)</li> </ul> <p>◆<b>推進体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土佐の観光創生塾等の人材育成のための勉強会や研修会の受講</li> <li>土佐清水市観光マスタープラン策定 (H28)</li> <li>足摺宇和海国立公園足摺岬エリア利用計画を進める会の実施 (R2：5回)</li> </ul>	<p>◆<b>日本ジオパークネットワーク加盟によるさらなる誘客促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオパーク推進協議会の設立 (H27.2月)</li> <li>日本ジオパークネットワーク加盟申請 (H29.5月及びH30.5月)</li> <li>ジオガイドの養成 (H28～R2)</li> <li>産業振興アドバイザーを導入し、ジオツアーの磨き上げ (H29:2回) 及びジオストーリーの構築 (H29:2回) を実施</li> </ul> <p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジョン万資料館入場者数 H27：9,805人 → R元：15,831人</li> <li>ジオガイド登録者数 H26：0人 → R2：28人</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源のさらなる磨き上げ</li> <li>中心市街地・竜串・足摺の全域に周遊を促す体制づくり</li> <li>日本ジオパークネットワークへの加盟実現</li> </ul>

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆誘客の促進	<p>地域の自然、歴史、食といった資源の磨き上げと誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市：           <ul style="list-style-type: none"> <li>「足摺藪椿再生プロジェクト」の継続実施、スターウォッチングの磨き上げ、「足摺きりり」（キャンドルライトアップ）の秋冬観光資源としての磨き上げ、ジョン万次郎資料館及び四国88か所を核とする歴史資源による誘客促進</li> <li>インバウンド観光誘客のための受入環境のさらなる充実（案内板、パンフレット、通訳ガイド等）</li> </ul> </li> <li>●(一社)土佐清水市観光協会：           <ul style="list-style-type: none"> <li>周遊を促進させる体験メニューの充実、HP、SNSを活用した情報発信の強化、ジョン万次郎資料館での集客力のあるイベント開催及びイベントを呼び水としたツアー誘客</li> </ul> </li> <li>●観光事業者：           <ul style="list-style-type: none"> <li>スターウォッチング、唐人駄場を活用した宿泊客の夜間観光メニューの実施、官民共同による旅行会社等への営業展開</li> </ul> </li> <li>●県（地域本部等）：           <ul style="list-style-type: none"> <li>観光拠点整備補助金の活用支援、産振アドバイザーの活用支援、情報提供、関係機関への橋渡し</li> </ul> </li> </ul>				
◆推進体制の強化	<p>観光マスタープランに沿った、足摺・竜串・中心市街地が連動した誘客促進及び観光人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市：           <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地・竜串・足摺の全域に周遊を促す仕組みの検討</li> <li>唐人駄場の利活用の検討</li> </ul> </li> <li>●(一社)土佐清水市観光協会：           <ul style="list-style-type: none"> <li>県等が実施する、観光人材育成研修への地域の事業者の参加</li> </ul> </li> <li>●県（地域本部等）：           <ul style="list-style-type: none"> <li>産振アドバイザーの活用、情報提供、関係機関への橋渡し</li> </ul> </li> </ul>				
◆日本ジオパークネットワーク加盟によるさらなる誘客促進	<p>ジオパーク認定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市(推進協議会)：           <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオネットワーク加盟申請、現地審査対策、加盟会員相互の情報共有、マスコミを通じたPR</li> </ul> </li> <li>●県（地域本部等）：           <ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会への参画を通じた助言、産振アドバイザーの活用、情報提供</li> </ul> </li> </ul>		<p>ジオツーリズムの推進及びガイド等人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市（推進協議会）：           <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオ加盟後のジオ会員間のネットワーク強化、知名度アップのための情報発信強化、竜串ビジターセンターを拠点とするジオツーリズムの推進、ジオガイドの育成及びスキルアップ、ジオツアーの造成、ジオサイト解説板の新規整備等による受入態勢の充実、市民へのジオパークのさらなる普及啓発</li> </ul> </li> <li>●県（地域本部等）：           <ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会への参画を通じた助言、観光拠点整備補助金等の活用による受入体制整備の支援、産振アドバイザーの活用、情報提供</li> </ul> </li> </ul>		